（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Pocco南アルプスしらね

公表日 2024年12月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		個別対応が必要な時は、別室や軒下などを使用。またパーテーションを使用したり、テーブルの間隔をあけるなど、工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		基準通り、適切な人数を配置している。多く配置されている日もある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		子どもにわかりやすい構造、視覚的に刺激を少なくするなど工夫している。バリアフリーについては一部工夫してある。	室内は対応済だが、入り口や玄関は未対応。必要に応じて検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日、職員が掃除をしている。また感染症対策として毎日消毒をしている。	椅子やテーブルは、合っていない子もいるため、検討が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別対応できる部屋が２つ。軒下の利用、必要に応じて、職員の部屋などいつでも使用できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎日ミーティングや月一のミーテイングで振り返りをし、情報共有できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		内容について把握し、改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日のミーテイングや毎月1回のミーテイングだけでなく、意見できる場を設けたり、個別に対応もしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		ほぼ毎月研修を受けている。また必要に応じて、個々で研修を受けている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムを作成し、当事業所のWebサイトに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		必ず実施している。法改定後は5領域それぞれについて詳しく行い、計画に反映されている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		担当者会議をもれなくおこない、話し合いをしたうえで、作成されている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8		全職員が理解した上で療育している。また支援計画はいつでも見れるようにしてある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		日々の行動観察だけでなく、SM社会生活能力検査、乳幼児発達スケールやVinelandの実施および評価などを療育に活用している。外部でおこなったWISCなども保護者から共有していただいている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		放課後等デイサービスガイドラインを踏まえて作成されている。５領域についても１つひとつ丁寧に支援内容を計画している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		毎月計画的におこなっている。また毎日のミーテイングで内容確認をして、必要であれば改善するなど、工夫している。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		子どもが興味のあるもの、待ち時間も飽きないよう工夫されている。子どもからのリクエストも取り入れている。また曜日固定することのないよう、月毎に変更もしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		適宜組み合わせ、計画を作成している。また毎日、個別活動と集団活動を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		活動内容、配置、座席表、配車やそれぞれの役割分担を毎日必ず話し合い、支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8		支援後は必ず振り返りをしている。当日できない場合は翌日に行い、全職員に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		HUGシステムを活用し記録している。またミーテイングの内容を記録し、支援の検証改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		モニタリング→アセスメント→担当者会議などを定期的に行い、各種検査結果なども踏まえて、計画の見直しなどおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8		自立支援や戸外活動、および余暇の提供として好きなことに取り組める時間など、個別対応し提供している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		基本的に集団活動には参加してもらっているが、個別活動は自己決定をしてもらい、個々に必要な活動をおこなっている。	より自己決定をできる機会を増やすために、視覚支援ツールをもう少し充実させる。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		基本的に、児童発達管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		基本的なことはおこなえている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		就学前に利用していた施設や事業所から会議を通して、情報共有および引き継ぎをしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	8			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	サッカーやマンドリンコンサートなどで外部の方との交流をおこなっている。またPoccoグループ内での交流は行われている。	地域の子どもとの活動ができればいい。今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		機会があれば、参加している。	参加の機会を増やしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時やHUGシステムというアプリを利用しておこなっている。年数回面談もおこなっている。定期的な面談以外にも必要に応じて対応している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		外部講師による相談会などを定期的におこなっている。	事業所内で、小規模な家族支援プログラムを計画していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		入会時に説明をおこなっている。また必要な時に丁寧に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		個別活動においては、意志を尊重して計画実行している。集団活動においては、安全面が確保されるか検討し、意向を取り入れ日々の活動をおこなっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8		計画には、説明をおこない確認したうえで、必ずサインと押印をいただき、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		随時相談に応じるだけでなく、月に一度の相談会の案内もしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1	父母会として活動支援をおこなっていないが、PoccoCafeに参加していただいたり、サッカーなどを参観する機会を設けている。	きょうだい同士で交流する機会としては、実施していない。保護者の負担にならない程度に検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者が話しやすい体制を整えている。ご意見などがあった場合は、速やかに対応している。苦情については、ポストを設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		LINEやＳＮＳなどで発信している。	不定期発信のため、定期的に発信していく必要がある。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		不要な書類はシュレッターにかけるなど、気を付けている。またパソコンの持ち帰りや個人情報の持ち出しは禁止となっている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		写真カードを使用して、コミュニケーションをとれるようにしている。またSOSカードや別室で個別対応するなど、配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	マンドリンコンサートやサッカー教室など地域との交流はある。	頻繁ではないため、回数については検討していく必要がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応等、全マニュアルを策定、閲覧できる。また各種訓練も必要な回数は実施している。	保護者には、契約時や訓練時に説明や報告はしているが、伝え方の工夫をして徹底する必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施している。防災グッズや非常食、衛生用品などの防災セットも事業所内にある。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		服薬やてんかん発作については一覧表がいつでも見れるようになっている。てんかん発作については、保護者と話し合い、個別対応方法を作成している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギーについては契約時に確認、同意書をいただいている。またキッチンには表を貼っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		常に安全面を第一優先に意識した取り組みをおこなっている。必要に応じて、研修や訓練もおこなっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8			おこなっているが、不十分な可能性もあるため、徹底していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		日々、事業所内で共有し、ミーティング等でも話し合いをおこなっている。またヒヤリハットを共有し記入しやすく工夫されている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会があり、定期的に会議がおこなわれている。また研修もおこなわれており、適切な対応をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		契約時に説明し同意書をいただいている。また計画書にも記載している。身体拘束を実施した場合、書面及び口頭で詳細を伝えている。	